

学校名 可児市立中部中学校  
所在地 岐阜県可児市広見1086  
電話 0574-62-1161

## 1. 本校の概要

本校は、岐阜県のほぼ中央部に位置し、生徒数840名、教職員数62名からなる大規模校である。

本校のある可児市には、義務教育9か年のスパンで生徒たちの可能性を意図的、計画的、継続的に引き出し、伸ばし、鍛えていこうとする教育プラン「Educe9」がある。本校ではこれを受け、「自信と誇りに満ちあふれた勢いのある学校」づくりに取り組んでいる。

## 2. 本校の実践の概要

「読書意欲を高め、視野の広い読書をめざす図書館教育」を研究主題とし、読書に親しむ環境・姿勢づくりを核として、次のような実践を行っている。

### ① 全校読書

読書を通して、想像力・思考力を高め、心豊かな生徒を育成すること、生活の中に読書習慣を取り入れることをねらいとし、平成14年度から、朝10分間の全校読書に全校一丸となって取り組み、今年で2年目を迎えている。「読書に親しむ」「読書を楽しむ」「積極的に読書に取り組む」というように、生徒の意識を段階的に高めようと、学期ごとに目標を設定している。



〈本の世界に浸る生徒～朝読書の様子～〉

### ② 委員会活動

前期には、図書館の開館に備えて、学級活動

の時間にオリエンテーションを行った。だれもが図書館を気持ちよく利用できるように、情報委員の生徒自らが作成したビデオを用いて、利用の約束やマナーについての徹底を図った。

後期には「ライブラリーフェア」を開催し、「全校読書におすすめの本」コーナーを設けたり、情報委員が各学級で本紹介を活発に行ったりして、単なる当番活動にのみ終始するのではなく、全校への情報発信を推進した。

### ③ 図書館掲示の工夫

学習・情報センターとしての図書館の役割を果たすため、図書館の壁面掲示に「今を考える」というコーナーを設け、時事問題にかかわる資料を掲示したり、季節を感じられる掲示物で、「心をいやす」図書館づくりをすすめている。



〈図書館で知る世界情勢～図書館掲示～〉

## 3. 成果と今後の課題

今年度、図書館開館から9月末までの貸出冊数は2,630冊で、2年前の同じ時期の1,031冊と比べて2倍以上になっている。また、予約コーナーは次の貸出しを待つ生徒たちのカードでいっぱいという状況が続いている。読書に親しもうという生徒たちの意識が年々向上し、生活の中に読書が着実に位置付いてきている。それに伴って、落ち着いた生活、授業姿勢が確立されてきたことも実践の成果である。

今後はさらに、読書を通して豊かな心を持ち、社会の在り方や自らの生き方について考える生徒を育成するために、より一層の努力をしていきたいと考える。